



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部

道標



# 殉教の現代的意味

## ペトロ岐部と一八七殉教者の列福に向けて



溝部 脩司教

一月に開催された司祭大会での溝部司教の講話「殉教の現代的意味」を問答形式でまとめてみた。

問：今秋、一八八人の殉教者が列福されるそうですが、日本にはすでに「日本二六聖人」「トマス西と一五人同志殉教者」それに「日本二〇五福者」が殉教者として尊敬されていますが、殉教者はまだ他にいたということですか？

答：そうです。上記の殉教者の大半は一六二四年以前に殉教した方々で、圧倒的に外国人司祭と当時の男性指導者です。しかし、その後特に一六三〇年代に激しい迫害があったのですが、今回列福される人たちはその頃の方々です。

当時すでに、外国人の司祭は追放され、日本人司祭も潜伏していたわけですが、殉教者のほとんどは老若男女の信徒です。もちろ

## 司祭大会での溝部司教講話

あつて過去の殉教者を顕彰することにどういう意味を見出せるでしょうか？

答：殉教とはすなわち信仰を生活の中で証すること

# 教区フェスティバルの開催決める

## 一月開催の司祭評議会

一月二十三日の司祭評議会、毎年記念されている教区司教座聖堂献堂記念日(九月十五日)を「教区フェスティバル」と名称を変え、九月十七日の祭日に祝うことが決められた。

司祭評議会では年間予定を検討している中で、上記の記念日を福音宣教を考

問：殉教というものが縁遠く感じる現在の日本に

でも同じではないでしょうか。もう一つ言えることは、当時の教会の指導者は迫害の嵐に耐えうる信仰教育を信徒に授けているし、信徒もそれにこたえて、司祭がいなくても教会の働きを継続していた。つまり司祭に甘える信徒の姿はそこには見られない、ということとです。教会では「組」という組織が十分機能していたと言えます。もちろん、厳しい迫害に耐えかねて仲間を裏切る訴人が出るようになって、組は解体されていったことも事実です。

問：今回の列福で特徴的なことは何ですか？

答：これまでの聖人たちは特定の修道会が教皇庁に申請し、教皇庁主導で列福、列聖されたものでした。今回は、日本の司教団が申請者であり、対象者も皆日本人であり、また、殉教地が日本各地に散在していること、さらに、「殉教者の血は教会の種子となる」という教えを彼らは十分に認識していたということ。

問：一八八殉教者について詳しく知るためには、どんな本がありますか？

答：一つは「殉教者を想い、ともに祈る週間」というパンフレットで、もう一つは「クリシタン地図を歩く 殉教者の横顔」(ドン・ボスコ社)があります。

二十五日のコンベンツスでも発表された。具体的には午前十時から午後四時ごろまで。会場はカテドラル・ザビエル教会とザビエル公園を計画している。

「それでも」を募集 教区広報部

最近、あちこちで聞かれるようになった信者の頑張っている姿「それでも」。

これは、信者が苦しみや行き詰まりの中にあっても、「それでも」と希望を失わず頑張った体験を他の人に伝えることが一番の宣教になると考えられるから。家庭や職場、生活の場で起こった「イエスの物語」(それでも体験)を紹介して欲しい。

それらの作品の中からいくつかは教区報で紹介し、また時期を見て冊子にまとめる予定。

## 神学生二人誕生

### 鴨池教会

鴨池教会から二人の少年が長崎カトリック神学院(小神学校)に合格、四月に入学します。石堂 陸君と大田 聖君(たかし)君です。鴨池教会で洗礼を受け、教会学校に通い、侍者として



石堂 陸君



大田 聖君

奉仕し育てられた生粋の「かもいけっ子」です。二人は決して優等生ではありません。悪戯もすれば、先生に叱られるも少年たちです。でも、この二人はいつも教会のどこかにいました。キリストの場に居続けました。まだ幼さの残る二人を

見ると「天地創造の前にお前たちを選んだ。お前たちが無に等しいから」(エフェソ)という聖パウロの言葉を思い出します。神様の大きな大きな恵みに対してどう答えるか、私たち共同体に求められます。教区の皆さん、厳しく険しい司祭への道を歩き始める二人のために、すべての面で支え助けて下さい。輝く司祭叙階の日まで。(鴨池通信員・桃園淳一郎)

「それでも」を募集 教区広報部

大マラソンのテレビ中継を見た。優勝者は「苦しいトレーニングを積んできた。勝利の女神は必ず報いてくれると信じていた」と語ったとか▼マラソンを人生に例える人がいる。きつとどちらも自分で足を進めることではか終点まで行き着けないからだろう。そう言われると「そうだ」と納得するが「そんなに苦しいのならやらなければ」とも思う。だから彼ら挑戦者に憧れもする▼ランニングを楽しんでいる人たちは、β-エンドルフィンが脳から分泌されているとか。走り出して暫くすると現れる疲労感や倦怠感を取り除いてくれるものらしく、「ランナーズハイ」という恍惚状態に誘ってくれるらしい。確かにそうであれば、苦痛だけの運動だ▼もつと上級者や厳しい練習を積んできた人には、次のご褒美があるとも聞いている。「セカンドウィンド」。ランナーズハイが終わり、「もうだめか」と思える瞬間(デッドポイント)を耐えた者だけに与えられるものという。苦しんでいたのが嘘のように、背中を何者かに押されるように足を進めることができるらしい▼そんな瞬間を味わってみたい。ただ、それは苦しみも「それでも」と乗り越えてくるのが条件。さて、運動でも人生の歩みでもいつか背を押してくれるものの出現を信じて敢えて楽でもない道を選択する勇氣が持てるだろうか？

# 二〇〇七年度年間予定決まる

- 3月 7日(水) 教区顧問会、27日(火) 中高生の長崎巡礼・29日
- 4月 5日(木) 聖香油ミサ、10日(火) 司祭評議会、16日(月) 教区司祭会、レデンブートル会例会、17日(火) 定例司祭集会
- 5月 7日(月) ザベリオ会黙想・11日、13日(日) 教区財務委員会、14日(月) レデンブートル会例会、20日(日) カトリック北薩大会、27日(日) 地区財務委員会、28日
- 6月 18日(月) 司教総会・22日、22日(金) フィリピンデー・24日、25日(月) 教区司祭会、レデンブートル会例会、26日(火) 定例司祭集会
- 7月 17日(火) 司祭評議会
- 8月 1日(水) アルフォンソ祭、6日(月) カトリック平和旬間・15日、12日(日) ザベリオ上陸記念祭、20日(月) 夏期講座・24日
- 9月 17日(月) 教区フェスティバル、18日(火) レデンブートル会例会
- 10月 15日(月) レデンブートル会例会
- 11月 12日(月) 司祭評議会、教区司祭会、13日(火) 定例司祭集会、18日(日) レオ七右衛門祭、20日(火) 奄美例会、21日(水) 大神学院祭
- 12月 2日(日) 川内チャリティーマス、9日(日) 鹿児島市民Xマス、大口市民Xマス
- 08年1月 7日(月) 教区司祭会、8日(火) レデンブートル会例会、20日(日) キリスト教一致祈り集会、22日(火) 司祭評議会、司祭大会・25日、25日(金) 司教霊名の祝い
- 2月 18日(月) レデンブートル会総会・19日、司教総会・22日
- 3月 20日(木) 聖香油ミサ

## 声

### 憩いの広場を

昨年のザベリオ祭で司教様が話した「ザベリオ教会の前の道をザベリオ通りと呼ぼう」に大賛成。正式な名前がどうかはともかく、まずは教会のみんなでその名前を使い、ぼちぼち外に向かってアピールしていけばザベリオ教会自体は観光客も多いしみんな知っているのだから「ザベリオ通り」も浸透するのでは？

もう一つ、教区本部の交差点に面したスペースを有効活用して欲しい。せっかく人目につきやすい所なのだからあのままにしておくのはもったいない。始末の悪い庭に保管されている大きなザベリオ像を設置して、交差点から見えるように、壁と生け垣の一部を取り除き、通行人が信号を待ちながらふらっと入れる広場にしてはどうだろうか？ベンチを置いたり小さな噴水などを作れば、市民の憩いの場、祈りの場への第一歩にはならないだろうか？ 広島のカテドラルの前には木陰にベンチが置いてあって学生が楽しそうに談笑している。大阪のある教会の庭は、昼休みにOLやサラリーマンが弁当を食べに来るらしい。

教区や教会に頼らずに信徒の力でできないだろうか？ みんなでアイデアを出し合い、協力したら実現できるのでは…(青年信徒)

### 司教執務室便り

#### 「それでも」大募集

今年、いつになく多くの方から年賀状をはじめ霊名の祝日のお祝いのカードを頂いた。沢山のお祈りと共に皆さんの熱い思いが嬉しかった。何よりも嬉しかったのは、「それでも」と気持ち新たに日々歩み続けています」という言葉が多く寄せられたことだった。「それでも」効果が徐々に浸透して、教区中の信者達がどんな逆境の中でも顔を御父に向けて感謝と賛美を捧げ、希望の証びとなる。想像しただけでワクワクする。

先月、「司教と本音で語る会」というのをやった。市内六教会から二人ずつ、壮年連合の役員計十七人。その中で、「司教や司教が宣教の見本を見せて欲しい」というのがあった。具体的な宣教の方策を打ち出せないでいる当局側にとっては辛いものがあるが、ふと思いついたのが冒頭の「それでも」。これだけあちこちから、「それでも」によって元気が出た話が寄せられてくるのだから、いつそのこと、「あなたの『それでも』大募集！」をやってみようか。大人だけでなく、教会学校の子供たちをも新たな「それでも」体験へと促すことにもなるのではないか。そうそう、「それでも」を

テーマにした作文コンクールもいいかも知れない。もちろん、優秀作品には立派な賞も。そうして、寄せられた「それでも体験」を小冊子にまとめて出版すれば、立派な宣教用の冊子が出来上がることになる。

こうして、世の人々に苦しみや戸惑いからどう立ち直ったかという生の「それでも体験」を手渡すことで宣教活動に参加することになり、実は、それこそが自分の言葉でイエスの物語を語るといふことになるのではないか。

## 新風

### この世の支配者は誰？

人類が21世紀に踏み込んでから7年目に入っています。20世紀がイデオロギーの衝突による二つの世界大戦を経験しながら、世紀末には資本主義体制の勝利に終わるという結末を迎え、21世紀にそのまま突入したという感が否めません。

ニューヨークで起きた2001年9・11の同時多発テロ惨事は皮肉にも21世紀の世界の動向を暗示しているように思えます。それはあのテロは資本主義体制の象徴であるアメリカ、しかも、ウォール街(金融)、ワシントン(政治)、ペンタゴン(軍事)を同時に狙ったものだったからです。ワシントンだけは未遂で終わりましたが、資本主義体制の旗手アメリカにとってはショックはあまりにも大きかったに違いありません。

言うまでもなく資本主義の「神様」は「お金」です。そこには道徳も正義も人間尊重もないのです。お金の神様は非情なのです。そのお金の神様が支配する世界に、自分の命を

犠牲にしてまで戦いを挑みます。その行為は宗教的信した。

あの事件以来、宗教がいます。「一神教がいけないから宗教は危ない」とか。しかし、宗教のせいにして問題の核心をぼかすのではなく、「一体誰がこの世を支配しているのか?」「自分は誰の声にしたがって生きているのか?」を真剣に見定めなければなりません。

聖書にはこの世を支配しているのは悪魔であるとはっきり書かれています。「悪魔は言った。この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任ざられて、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もし、わたしを拝むなら、みんなあなたのものになる」(ルカ福音書4章6節)。

四旬節を歩むわたしたちは今一度、問題の核心に迫ってみたいと思います。(H・N)



**「KABAYAN SEKSİYON」**  
**"CRISTO JESUS: Tugpangitan at kabayan ng Lahat ng Pagpapahayag"**

Sinabi ng Dios Ama ang Lahat ng bagay sa Kanyang Salita. Nasasabi sa Sulat sa mga Hebreo: "Noong unang pagpapahayag ng Dios sa ating mga ninuno sa lalaking ng mga propeta sa babu-babagi at sari-saring pananaw ng mga ninuno sa mga halang-araw, nagsalita sa siya sa atin sa pamamagitan ng Anak."

Si Cristo, Anak ng Diyos na naging taukang isa ng Ama, ang kanyang at hindi malalapasan na Salita. Sa kanyang sinabi ang lahat ng bagay sa walong ibang Salita maliban sa kanya. Sinabi ni San Juan dela Cruz: "at ang iba pang namanulat tungkol sa Sulat sa mga Hebreo 1:1-2 (Sa pagpapahayag sa atin ng Kanyang anak ang kanyang Salita) na walong ibang pagpapahayag, ipapahayag nya ang lahat sa kanyang kausap sa Sulat at wala na siyang magsasabi pa. dahil ang ipinagpabi nya na ang ama sa mga propeta bilang bagay ngayon isama nya ang lahat sa pagbibigay sa atin ng "Siya ang Lahat" - ang Kanyang Anak. Ang sinamang lahat may kuta nung sa Diyos na naganap ng ibang pananaw o pagpapahayag ay magiging may kasalanan hindi lang sa atin na pag-nugali kandi rin sa paglalag sa kanya, na hindi inilalagay ang kanyang mga mala kay Cristo at sa pamamagitan ng pagpapahayag ng ibang pananaw ng lahat". Wala ng ibang Pagpapahayag ng maliban sa pagpapahayag ng Ama diyos sa kanyang Salita, ang Anak, si Cristo Jesus, tutuwag nabuo na ang pagpapahayag subalit ito'y magiging pagpapahayag sa pamamagitan ng pananaw ng Diyos ng mga Kristiyano, hanggang sa sumating ang panahon ng maluwagang pagpapahayag ng Anak ng Diyos - si Cristo Jesus.

Itong kanyang at hindi naging malin ang kabayanan ko. Subalit sa pamamagitan ng atin sa araw-araw ang Diyos ay nagpapahayag sa pamamagitan ng kanyang Salita at mga pananaw sa bulag malin Namang mas mo na ba kabayan ang pagpapahayag ng Diyos? Magiging bukas sana palagi ang puso malin sa pagpapahayag ni Cristo Jesus

### 戦後初の仮聖堂の地に記念碑 名瀬聖心教会の池田哲弥さん

「太平洋戦争中、軍部に接収された教会財産を取り戻すために立ち上がった奄美の信者たちがいたことを記憶に留めて欲しい」と語ってくれるのは池田哲弥さん(名瀬聖心教会)。昨年十月、名瀬市の和光ト



記念碑の前に立つ池田さん

ネル出口付近の公道に「奄美天主教会仮事務所跡・カトリック仮御堂跡」の記念碑を設置した。財団法人奄美天主教会は、太平洋戦争中、教会の財産を守り、また軍に接収された教会の財産の返還を

求めるために設立されたもので、その事務所は池田さんの祖父宅であった。またそこは仮聖堂として使われ、終戦後、奄美での最初のミサがささげられていた。奄美の信仰の基礎を築いてくれた先達の心を何とか形に留めておきたいと願った池田さんは、和光ト

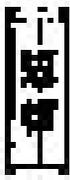
### フィリピンデーもあります イキイキ活動の和泊教会

二〇〇六年十二月二十三日(土)に久しぶりに「子どものクリスマス会」をしました。五歳児から中学生まで、大人同伴の幼児で三十人の集いになりました。約二時間でしたが、神父様のお話を聞き、献金をささげ、ロウソクを灯してお祈りと覚えたいばかりのクリスマス歌を歌い、ゲームを楽しみ、婦人たちの手作りのケーキに歓

声を上げ、新しいお友だちを作って、夏の合宿を楽しみに散会しました。翌日の二十四日のクリスマスミサの中で、幼児二人の洗礼と小学生一人の初聖体がありました。ミサ参加者は八十五人でした。小さな小教区ですが、近年、日本人男性と結婚したフィリピン女性のカトリック信者約六十人とその子どもたちが増えていきます。このク

リスマミサにも、未信者であるご主人達が四人参加していました。ミサ後は各自持ち寄りの自慢料理でパーティになり、お互いの交流が深まりました。この人たちが主日のミサにも参加して、教会共同体の交わりができるように毎月、第一日曜日のミサは午後三時にし、聖書朗読は日本語、英語、タガログ語にしたり、英語・日本語ミサにしたりして工夫しています。そのため毎月、英語の教会ニュースを配布しています。

また二年前から年一回、フィリピン出身のベルナルディーノ神父様(種子島)を招いて家庭訪問、タガログ語の告白、ミサ、要理などして「フィリピンデー」をもって互いのつながりを深めています。今年も同じ計画をしています。しかし、それ以外にも少しずつフィリピン女性やその家族が一般のミサにも参加したり、教会行事に積極的に協力するようになりました。この芽生えを大切に育てていきたいと思えます。(和泊教会発)



### ▼瀬留小教区がカレンダー製作

瀬留小教区(末吉卓也神父)では、信徒たちの活躍で教会独自の二〇〇七年版カレンダーを完成させ、配

布した。小教区内にある七つの教会の写真で飾られたカレンダーには、教会の祝日はもちろんのこと所属信徒の命日、小教区教会の献堂記念日が記されている。まさに信者のためのカレンダーと言わば、脱帽といった感じ。



### 門田 明氏の 鹿兒島とキリスト教①

#### ザビエルと島津貴久

先号ではザビエルと忍室和尚の出会いについて話した。今回は領主島津貴久との会見について話したい。

一五四九年八月十五日鹿兒島に上陸したザビエルは、ひと月ほどたった九月二十九日、大天使聖ミカエルの祝日に、領主島津貴久と面談し宣教の許可を得ている。「領主はたいへん丁寧に書かれていた本を大切にするように言われました。そして、イエズス・キリストの教えが真理であり、良いものであれば、悪魔はたいへん苦しむであろうと言われました。数日後、その臣下たち

にキリスト信者になりたい者はすべて信者になってよいと許可を与えました。」(ザビエル書簡)

最初に、ザビエルを鹿兒島に案内したヤジロウが貴久に引見される。ザビエル書簡によるとこの

ときの領主は鹿兒島から五レグア(二十八キロ)離れたところにおられたという。引見については「この地の領主も彼を引見して大いに喜ばれ、たいへん礼遇して、ポルトガル人の生活様式や気品の高いことなどについて尋ねられました。そしてパウロ(ヤジロウ)はすべての質問について詳しく説明をしましたので、領主はたいへん満足されました。」といっている。ただ会見の地がどこであったかにつ

いては二説あり、完全な結論には至っていない。河野純徳師は書簡の注で「マルドックは、鹿兒島の北東の国分に居住していたと証言している。これはジョルジュ・アルヴァレスが領主を訪れたと言っていることにもとづいてい

ると思われる(ザビエルの領主訪問は国分が伊集院か、論争されている。資料によると戦乱の状況から考察すれば伊集院であったと思われる。)」と判断を示しておられる。

ヤジロウは領主訪問に際して、聖母の聖画を持参したようである。領主も領主の母も非常に喜び感激し、その前にひざまずき拝礼したという。ザビエルの領主訪問は予期以上の成功を収めたようである。(玉里教会信徒・ザビエル上陸顕彰会会長)

### ▼名瀬カトリックセンターにエレベーター設置

名瀬聖心教会に隣接する名瀬カトリックセンターにエレベーターが設置され、一月二十日の新年会の中で完成祝いが催された。

### ▼愛の聖母園練成会

児童養護施設「愛の聖母園」の中・高生十二人が二月三日(土)教区本部で練成会を実施した。子どもたちは郡山司教の指導のもと「命を見つめる」をテーマに熱心な時を過ごした。



児童養護施設「愛の聖母園」の中・高生十二人が二月三日(土)教区本部で練成会を実施した。子どもたちは郡山司教の指導のもと「命を見つめる」をテーマに熱心な時を過ごした。

## 3月 今月の暦

- 4日(日) 四旬節第二主日
- 7日(水) 教区顧問会・教区本部・14時
- 11日(日) 四旬節第三主日
- 14日(水) 女性信徒の会「黙想会」・ザビエル教会・10時30分~15時
- 17日(土) 田原 章神父叙階記念(一九五三年)
- 18日(日) 四旬節第四主日
- 19日(月) 聖ヨセフ
- ▼サンタマリア神父、ムイベルガ神父、大野和夫神父、牧山田一神父霊名
- 20日(火) 浜田盛茂神父叙階記念(一九六六年)
- ▼永山幸弘神父叙階記念(一九六八年)
- ▼郡山健次郎司教叙階記念(一九七二年)
- ▼寝占敦之神父叙階記念(一九八三年)
- ▼美島春雄神父叙階記念(一九六七年)
- ▼木村敏彦神父叙階記念(一九八六年)
- ▼大松正弘神父叙階記念(一九八七年)
- ▼頭島 光神父叙階記念(一九八七年)
- ▼小隈憲士神父叙階記念(一九八八年)
- ▼末吉卓也神父叙階記念(二〇〇三年)
- ▼国原武志神父叙階記念(一九五八年)
- 25日(日) 四旬節第五主日
- ▼泉 浩二神父叙階記念(一九九三年)
- 26日(月) 神のお告げ
- 27日(火) 中高生の長崎巡礼・29日まで
- ▼瀧 憲志神父叙階記念(一九六五年)
- 28日(水) 田邊 徹神父叙階記念(一九五一年)
- 29日(木) 内野洋平神父叙階記念(二〇〇三年)

**女性信徒の会黙想会**  
 日時: 3月14日(水) 10時30分~15時  
 指導: ヴィゴロ・マルコ神父  
 (聖ザベリオ宣教会・鹿屋教会)  
 テーマ: 共同体の信仰を強めるためには

**中高生の長崎巡礼**  
 ー受け継がれた信仰ー  
 期日: 3月27日~29日  
 参加費: 15,000円(離島からの参加者の旅費は主催者負担)  
 問合せ: 泉 浩二(加世田)  
 tel10993(52)2303 ※締切3月18日

**お詫びと訂正**  
 本紙先月号で「聖マリア在俗会(旧聖母カテキスタ会)を聖母マリア在俗会と誤って掲載しました。お詫びし訂正いたします。教区広報部

# 心と心が触れ合った 希望の星学園で韓国の神学生が研修

一月十二日から二週間の日程で知的障害児施設「希望の星学園」(宮原マツ子園長・定員六十人)でボランティアとしてくれたブサン教区の金 東根(キン・トクン)神学生(三十三歳)を紹介します。



金神学生

食事、歯磨き、排泄介助、養護学校までの登校付添、下校迎え、おやつ、入浴支援と男女七つの部屋に入っ

ていただき、すべての子どもとの出会いを深めてもらいました。

日本語も上手に話され、職員も安心しましたが、「目は口ほどに」というように、金神学生の柔和な表情は、利用者に安心感を与えていました。主任の評価にも「利用者に関わる金さんは楽しそうでした。最初は緊張の面持ちでしたが、持ち前のにじみ出る心の温かさを感じ、子どもたちも温かい気持ちになりました。子どもも職員も金さんと利用者の関わりを見て、初心を思い出させてもらいました」とあります。

曜は末吉神父と瀬留小教区の司牧活動にも参加され、家の祝日も体験しました。教会学校でも子どもたちへ韓国料理をプレゼントし、大好評でした。

彼の人は司牧評議会を動かし、一月二十八日(日)に送別会の運びになりました。当日の料理は何と金さんの手作り、これに婦人会の協力もあって、皆本場の味を体験しました。会では金さんのしみじみとしたスピーチ、島の踊りがあり、五年後という金さんの叙階式への参加という夢にまで広がりを持たせました。

金さんとの出会いは、韓国と鹿児島教区の掛け橋の始まりを思わせるもので、彼の使命と神のご計画を垣間見た感じがしました。(赤尾木教会 田下哲朗)

性がありよい。  
鹿兒島 前田儀子

## 文芸

### 俳句(思川俳句会作品)

#### 平新太郎選

純心学園 山頭信子

譲り葉やわれも慕わん名の由来

(評) 古名は「ゆずるは」、菓草。上句の「譲り葉や」がよい。

鹿兒島 春山マリ子

重度の身冬越す温もり誰が知る

鹿兒島 徳永ノブ子

確かなる主の計らいの野梅咲く

出水 遠竹睦郎

庭の辺に小鳥ら遊ぶ春日かな

純心学園 川上 和

顔をだし辺りをうかがう福寿草

出水 沖 弘子

この風に揺れて膨らむ冬木の芽

(評) 「揺れて膨らむ」は作者の豊かな心を表している。

阿久根 中津濱フサエ

ぼかぼかと朝日さしこむ窓の春

## 若者 列福をよい機会に

二月十七日、長崎の愛宕教会で長崎と鹿児島青年約三十人が集い交流した。これは今年十一月に予定されている一八八殉教者の列福式に合わせて計画されているユースフェスティバル(仮)に向けての会議で、長崎と鹿児島青年達がア

## シリーズ「教区財政を考える」⑤

### みんなで育てよう未来の司祭を

はじめに  
この世における司祭の存在は、キリストの現存を可能ならしめる貴重なものです。キリストに繋がって生きている神の民(信者)はキリストご自身からのみことば(聖書)とパン(聖体)によって生かされてい

ます。従って、司祭なしでは神の民は死滅するといつても過言ではありません。今回はこのテーマを財政の面から考えてみます。

皆さんのご協力に感謝  
信者の皆さんは、司祭の存在の大切さをよくご存知です。その証拠に毎年教区費の三分の二に当たる約一千万円を納めて下さっています。しかし、これでは足りないのです。

司祭までの道  
司祭叙階までの神学校の行程は次のようになっていきます。①長崎カトリック神学院(中一〜高三、私立長崎南山中・高等学校に通います)②長崎コレジオ(四年生大学課程、本人の学力に応じた大学に通います)③福岡サン・スルピス大神学院(大学卒業資格、あるいはそれに準ずる学力のある二十二歳以上の者。入学試験があります)教区神学生として受け入れられた者に対して、上記の全過程の学費と帰省費を含めた全費用を教区会計が負担します。

性がありよい。  
鹿兒島 前田儀子

暖かきけふのひと日に生まれしか空  
地の畑に蝶湧きとべり

夕暮れのルルドに集う巡礼の捧ぐる  
祈り千火に燃ゆる

新しき朝に向って目覚めて今日の  
良き日を無事に過さん

小鳥らも春を歌ひて公園の桜の花は  
ほころびにけり

健やかに八十二歳を迎えぬて神の恵  
みをタベ祈らん

聖書とふ書にひかれいくわが心夜半の静  
寂に雪の音聴かむ



つになって列福式に向けて準備していきたい」と意気込みを語った。

また、二月十一日から横浜で開かれた青年連絡協議会でも、鹿児島教区からの提案で同フェスティバルについて話し合われ、全国に広がる同協議会独自のネットワークを駆使して協力することが決定された。

## 神学生にかかる経費

①長崎カトリック神学院の場合は教区負担金という名目で請求が来ます。二〇〇七年度は四人送りしますので、約五百六十八万円(二〇〇六年度参照)になります。②長崎コレジオには〇人なので〇円です。③福岡サン・スルピス大神学院へは一人国籍で、五・一六八・三八三円(基本分担金、二・九六二・五〇〇円。養成分担金、二・二〇五・八八二円)の予算が組まれています。

②長崎コレジオに送る神学生がいた場合、先ほど書いたように本人の学力に応じた大学に通うことになり、その場合、国立と私立によって学費に差がでます。③福岡サン・スルピス大神学院の場合、教区分担金は①基本分担金と②養成分担金に分けられます。基本分担金とは預けている神学生の数に関係なく、大神学校そのものの運営を維持するためのものです。分担の義務があるのは、長崎教会管内の五教区(長崎、福岡、大分、鹿児島、那覇)です。分担金の算出方法は各教区の信徒数の割合で決まります。例えば、鹿児島教区の信徒数は長崎教会管区全体の七・九%に当たります。従って、一年間にかかる大神学校の運営費の半分に先のパーセンテージをかけた金額が基本分担金となります。養成分担金は預けている神学生の頭数によります。

二〇〇七年度の神学生養成費は赤字  
以上の説明で明らかによ

に、二〇〇七年度の予算は千百万円ぐらいいなくなり、従って、収入が今年と同額なら百万円の赤字になります。神学生養成費は今の制度でいきますと、神学生が増えれば増えるほどお金がいることと、もう一点は大神学院の基本分担金のように、神学生を一人も預けなくても毎年三百万円ほどは負担しなければならぬということと、

自分たちの教会から神学生を送り出す  
自分たちの教会から司祭が誕生することは誇らしいことです。しかしその裏には教会共同体の祈りと犠牲(特に子供を捧げる家族)が不可欠です。どうか教会で神学生と会ったら、彼らを励ましてください。もちろん、自分の教会には神学生はいないから、神学生養成費は出さなくていい、という論理は成り立ちません。なぜなら、司祭はすべての小教区に派遣されるのでいつの日か皆さんがその恩恵に浴することになるからです。

## 岩野さん作ザビエルグッズ

ザビエルの胸像、その滞鹿記念碑、郡山司教の紋章をあしらった一輪挿し、などなど五点がザビエル書院のウィンドーを飾っている。これは昨年十月の「かごしま新特産品コンクール」で、応募作百二十五点の中から県観光連盟会



長賞に輝いた岩野啓一郎さんの作品。鹿兒島市新屋敷町に工房を構える岩野さんは、数百年の伝統を持つ帖佐や東郷、垂水人形の製法を受け継ぎながら、鹿児島民族や伝承行事、史跡を題材にした土人形・「さつま郷土人形」の制作者。ふとしたきっかけで、ザビエルと鹿児島教会を題材にした作品作りに着手してくれることになった。一つひとつ手作りという岩野さんの作品は、懐かしく素朴な感じが漂う。希望者は一つ千五百円から二千円程度という値段で注文することもできる。